

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス グロース		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 17日		R8年 3月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3人	(回答者数) 2人
○従業者評価実施期間	R8年 2月 24日		R8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 8人
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童一人ひとりに寄り添い、状況に応じて丁寧に関わり、コミュニケーションの時間を大切にしている。	日々の丁寧な関わり方や声かけを大切に、落ち着いて過ごせる環境整備を行っている。	今後も1人ひとりの特性や思いを尊重し、安心して過ごせる関係づくりを継続する。
2	児童の気持ちを尊重しながら、活動や遊びを通してルールや挨拶等の習慣づけの取り組みや個々の特性に応じた支援。	活動内容やルール等を事前に伝え理解を促すとともに、職員も模範を示しながら支援を行っている。また、個別や集団活動も状況に応じて柔軟に対応している。	引き続き安心できる環境の中で社会性の育成を図る。
3	保護者との対話の機会を大切に、情報共有に努めている。	送迎時の対面報告や連絡帳・LINE・電話等を活用し、こまめな連絡・相談対応を行っている。	面談や相談機会の充実を図り、より分かりやすい情報提供に努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流機会が十分に確保できていない。	安全面への配慮や感染症対策、時間・日程調整の制約等により、交流機会が限られている。	日程調整を行いながら、小規模・安全配慮型の交流方法を検討し、段階的に地域交流の機会を拡充する。
2	家族支援プログラムの実施体制が十分に整備されていない。	保護者会やペアレントトレーニングの実施体制が未整備である。	オンラインや少人数開催等の方法も含め、実施体制の整備を検討する。
3	利用ニーズの柔軟な対応。	児童や保護者のニーズが多様化しており、時間帯や活動内容等の要望に対し調整が必要となる場合がある。	児童や保護者のニーズを把握しながら、可能な範囲で柔軟に対応できるよう運営や活動内容の工夫を行う。